

女性委員会通信

246
2018.4.17

東京都港区新橋六 七 一 川口ビル六階
全国労働組合連絡協議会 女性委員会
TEL 〇三 五四〇三 一六五〇
FAX 〇三 五四〇三 一六五三

働くものを不幸にする、

「働き方改革」は今直ぐ廃案へ！

「働かせ方改悪」法案はいらない！

4月6日政府は働き方改革法案を閣議決定、上程した。ねつ造データ問題で裁量労働制の拡大は今回引つ込めた政府だが、労働組合や労働弁護団、過労死家族の会の必死な反対の声に耳を貸すことなく、究極の過労死促進法と言われる高度プロ法を含む一括法案だった。

雇用共同アクションは3月26日、同日、4月4日に法案を提出するなど衆議院第二議員会館前でアピール行動を行なった。

上程後の11日昼には国民春闘共闘等による行動に合流し12時半から議員会館前で廃案を求めて声を上げた。この行動には東部けんり総行動の一行も短時間合流し500人を大きく超える行動となった。

長時間労働は無くならない！

格差賃金容認法案だ！

集会では全労連・小田川議長、全労協・金澤議長が主催者挨拶、福島みずほ参議院議員が国会情勢も含め連帯挨拶を行った。

雇用共同アクションとして柚木常幹



が、高度プロ法は長時間労働の削減とは真逆に4週で24日24時間働かせることが可能であり、残業上限規制も労使で協定を結べば月100時間、6カ月で480時間もの残業が可能であり、最も規制が必要な自動車運転や医師などが5年も適用除外なのも大問題、非正規の待遇を改善すると幻想をふりまいた同一労働同一賃金は、身分が違えば差別は当然とする「同一労働格差容認法案」だと訴えた。

労働法に生産性向上なんていらない！

さらに一括法案には雇用対策法の一部改訂があり、労働側の反対にもかかわらず、目的に「労働生産性の向上等を促進し」と書き込まれ、また国の施策に「多様な就業形態の普及」も掲げられた。

フザケルナ！ 日本郵政！

正社員の労働条件切り下げで非正規差別の「是正」！

3月15日に日本郵政は春闘回答を行いその中で非正規への均等待遇についても回答した。その内容は一般職の住居手当を廃止し非正規への支給の道を立ち、年末年始手当のうち年末手当を廃止、年末より出勤の少ない年始手当のみ非正規に4000円支給、それも一般職が5000円なのに差をつけて。一般職の住居手当の廃止には10年間の経過措置つきだが、さらに寒冷地手当の削減も。非正規の均等待遇に名をかりての労働条件の切り下げだ。

アベ政権が同一労働同一賃金を言い出したとき、自民党の同一労働同一賃金の方針にも既存の労働条件の切り下げはないと明言していた。日本政府が大株主の日本郵政の回答はアベ政権の同一労働同一賃金の本質を明らかにしたと言える。こんなやり方を拡げるわけにはいかない。郵政ユニオンは4月19日昼、日本郵政本社前で抗議の行動を行う。(y)

全労協・女性委員会学習会へご参加を！

とき 2018年 6月 8日(金) 18時30分~20時30分頃

ところ 全労協事務所

内容 「種子 みんなのもの？それとも企業の所有物？」DVD(40分)上映。

上映後は軽食を取りながら交流(会費1000円)。

2018年「主要作物種子法」が廃止となる。日本のお米が美味しいのはこの法律のもと自治体が長年研究し新品種を開発してきたからだ。民間企業の利益のために公的な種子制度がなくなり、モンサント等の多国籍企業から種を買わねばならなくなる・・・そんな未来はご免だ。



労働者の権利、命、暮らしを守るのが労働法であり、厚労省は目を覚ませ！と訴えた。

廃案に追い込もう！

政府は4月にも審議開始をと言っているが、立憲野党6党は審議入りを拒否している。

違法な裁量労働制を行った野村不動産のケースで、過労自死の労災認定の事実を隠し厚労省の取組を宣伝するような厚労大臣の下ではまともな審議ができないからだ。

様々な文書が出てきて安倍政権はボロボロだが、こんな政権でまともな審議はできない。

もう安倍政権には退場してもらおうしかない！

みんなで追い込もう！

18けんり春闘中央総行動

安倍政権が働き方改革関連法案を閣議決定した4月6日、18けんり春闘全国実行委員会主催の中央総行動が行われた。

全国一般東京労組の一日行動と同東京南部の首都高速道路公団前集会以続いた経団連前の抗議集会では、全国一般東京南部・中島書記長が安倍政権の欺瞞に満ちた「女性活躍」を怒りを持って糾弾する発言を行い、夕刻からは銀座プロッサムで「18春闘勝利！中央総決起集会」を開催した。

4・6中央総決起集会は開会の前段にDVDで外国人実習生を除染現場で働かせていたことの告発。郵政20条裁判のニュース報道、全国一般東京労組メトロコマースのスト突入・座り込み・要請の闘い、全日建運輸連帯労組のEM・ケイ運輸の襲撃事件などそれぞれの闘いを上映した。

集会は全水道東水労・渡邊委員長が主催者挨拶を行い、10労組から闘いの報告と決意表明を受けた。



女性組合員からは、今年3月に「科研製菓」を雇い止めされた静岡ふれあいユニオンの組合員が「静岡工場」で半年契約を繰り返して10年働いてきた無期雇用転換の脱法行為を許さない」と

仲間たちと共に発言した。

また、全国一般東京東部労組メトロコマース支部の瀬沼さんと疋田さんは「人間としての尊厳を傷つける非正規差別を許さずに皆で声を上げよう！、司法や政治への怒りをばねに非正規差別撤廃を訴え安定した暮らしと尊厳を取り戻そう！」と訴えた。

争議団の発言を受けて新橋まで元気にデモ行進を行った。



私のお気に入り

9月28日、一度も国会を開催しないまま、衆議院が解散された。森友学園・加計学園の真相隠し以外の何物でもない。本当に腹が立つ。

沖縄での米軍基地問題、オスプレイの墜落事故、高江でのヘリコプター墜落事故、日米地位協定により、日本が一切手が出せない状況を報道で見ている時、本当に歯がゆい思いでいっぱいだ。

労働条件改善の取り組みとともに、平和への取り組みをあきらめずに取り組んでいかなければならないと思う。

国労 盛岡地本 小野寺京子



解雇撤回闘争に応援よろしく

私は一昨年の7月、22年勤めた会社を解雇されました。

私は短大卒業後、医薬経済社という業界誌に、事務職員として勤務していましたが、2015年頃から自主退職に追い込む嫌がらせを受け、東京労組に加入しました。そして、職場環境の改善を求め、団体交渉を行ったところ、その1か月後、突然、解雇されました。

その後も、6回の団体交渉を行いました。話し合いだけでは解決は難しいと判断し、昨年6月、労働委員会救済申立てと、東京地裁へ、地位確認訴訟を行いました。また、4月6日の東京労組の統一行動、第二波行動では、10時半から社前抗議集

政治分野の男女共同参画推進法、今国会で成立か！

日本のジェンダーギャップ指数は114位と先進国最低、その要因の一つが政治分野の女性議員の少なさだ。

Qの会が働きかけ2015年に設立した超党派の議員連盟が作り上げた法案は、国会・地方議員の選挙で男女の候補者数ができる限り均等になることをめざすものだ。

3年越しにやっと4月11日衆議院内閣委員会において全会一致で可決となり、衆議院を通過、参議院に送られた。黒一色の国会をもっとカラフルにしよう！

会を行ってききました。皆様、ぜひ応援よろしくお願ひ致します。

全国一般東京労組 岸 淳子

辺野古新基地建設強行という原因を無視した判決に抗議し、支援を続ける

3月、辺野古の新基地建設反対や東村高江の米軍ヘリパット発着現場建設反対の抗議行動を理由に山城博治さん（沖縄平和運動センター議長）、稲葉博さん、添田充啓さんが、威力業務妨害、公務執行妨害、傷害等の罪で起訴された事件の判決日に合わせた行動の呼びかけがあり、参加した。

14日の裁判当日、午前中にキャンパスシュワブ前での座り込みに参加し、慌ただしく裁判所前に駆けつけた。

事前集会では山城さん、稲葉さん、添田さんが次々に挨拶し、厳しい判決を覚悟しつつも、意気込みが示された。

判決は山城さんに懲役2年（執行猶予3年）、稲葉さんは懲役1年（執行猶予2年）、添田さんは懲役2年（執行猶予5年）で、沖縄に集中する基地、その上に民意を無視した新基地建設という状況の中、止むにやまれぬささいな行為に何の慮りもない不当なものだった。

判決後、裁判所前の公園で事後集会が行われた後、夜、報告集会がもたれた。報告集会も、賑やかなスピーチと歌が続き、まるで無罪判決の祝勝会のような。この明るさと元気な姿勢には学ぶものが多い。



翌日は、フィールドワークで普天間基地、嘉手納基地をめぐる。基地の中に沖縄がある現状は今もって変わっていないことを再認識。「道の駅かでな」屋上から嘉手納基地を一望する。F15戦闘機などによるタッチアンドゴーの爆音は想像を超えるものだった。この沖縄の状況を共有し、これからできる限り闘いに参加したいと思った。（竹内）